

日本語教育研究科授業アンケート

科目：言語文化研究 担当者：細川英雄

登録者： 名 アンケート提出者：15名	5 非常に そう だ	4 そ うだ	3 ど ちら でも ない	2 そ うで はな い	1 全 然そ うで はな い	0 わ から ない
1. この科目の内容は、その単位配分に見合ったものだった	5	6	2			2
2. 授業はシラバス・オリエンテーションに即していた	7	7	1			
3. 講義内容 / 成績評価基準について明確な説明があった	7	7				1
4. 科目担当者は、十分な準備をした上で講義に臨んでいた	5	6	3			1
5. 講義中、科目担当者の説明は明確で理解しやすいものだった	2	10	3			
6. 科目担当者は受講者の課題や発表などに対し、有益なフィードバックを行った	5	8	2			
7. 科目担当者は受講者の主体性を引き出す環境を整えていた	6	4	5			
科目担当者は受講者の意見・質問などに対して、誠実に応じていた	10	3	2			
9. 科目担当者は、受講者の研究姿勢(分析的・創意的な思考など)に影響を与えるような講義を行っていた	12	3				
10. 試験及び課題などには、科目内容が適切に反映されていた	11	4				
11. この科目を履修したことは、受講者自身の研究を深めるきっかけになった	11	3	1			
12. 使用された教材・教具(テキスト・レジュメ、視聴覚機器など)は、科目内容に関する研究・考察に役立った	1	6	7	1		
13. 私はこの講義を他の学生に推薦したいと思う	6	8	1			
14. あなたはこの授業に対して自分から積極的に関わりましたか。	3	7	4	1		
15. 講義時間外で費やした時間の質を自己評価してください。	3	7	5			
16. この科目を履修する際、講義時間外で費やした時間(試験 / 課題準備を含む)は、週平均何時間ぐらいでしたか。(7時間以上 5-7時間 3-5時間 1-3時間 1時間以下 0 不明)	2	4	2	7		
17. あなたの成績は自分で考えて、どのくらいだと思いますか。(5 A 4 A 3 B 2 C 1 D 0 F)	1	10	4			

18. 担当者に対して要望や改善を望む点がありますか。具体的に書いてください。

- メーリングリストの議論があまり効果的ではなかった。
- レポートの提出期限が早まるときは早めに知らせてください。
- 最後の授業でおっしゃったことですが、理論の授業でも、もう少しだけ実践とリンクさせて見れてたら・・・と思いました。ひとつひとつの概念定義をそう捉えることの意味について明確だったりそうでなかったりとばらつきがあり、時にこんがらがったりしました。

- 学生のレポートはレポートとして成立しているものを出してほしい。
- 学生と教師の議論にもうすこし時間がほしかった。
- シラバスはしっかりしていたが進度が遅かった。もう少し工夫してほしいと思う反面、一つ一つ丁寧に消化していたので仕方がないかもしれない。
- 別の授業と内容が重なっているためか、一部の人にしか理解できない話題が入っていたように思う。分からない学生のためにきちんと説明を加えてほしい。
- パワーポイントをもっと効果的に使いましょう。
- クラスの人数を減らしてほしいですが、なぜならそれはメーリングリストを利用するからです。
- 講義という形をとっていたこともあり、議論をしたとき、先生対学生という形式になってしまっていた。理論研究であるため、しかたがないのかもしれないが、もう少し全員で話し合う時間があればよいと思った。(メールでやっていたが、メールより口頭のほうがより意見が言いやすい)
- レポートに対する先生のコメントをもうちょっとくわしく、具体的に聞いていただきたく。
- メールリストでの授業のコメント提出は非常に勉強になった。しかし、最後までクラス受講者の名前と顔が一致していない点は少し改善されるべきだと思う。(新生生には分かりづらいと思うので)
- 期末レポートの相互評価についてだが、メールで送るか口頭で行うかのどちらか一方だけでもよかったのでは「ないか。少なくとも一人一分のコメント全員分というのは少し時間の使い方が有効ではなかったのではないか。

19. その他この講義について自由に書いてください。

- 知的精神的にかなり負荷がかかりましたが充実していました。マラソンを走りきったような気持ちです。
- 最後のレポートの締め切りを早めるのはやめてほしかった。非常に苦しかったし、満足できるものを書くための時間が足りなかった。早める場合にはもっと早く指示してほしい。
- 細川理論の入口としてはとてもわかりやすくよかったです。
- 研究室以外の受講者がなじみやすいふんいきが後半少しずつはでてきたようだったが、最初は研究室の人たち中心という印象だった。
- クラスのなかで、非先生ゼミの人もたくさんいるので、それに対して先生は特別なケアが必要なのではないでしょうか。
- 私にとってとても影響力のある授業だった。
- 半年間毎週メールを書くときいろいろ考えさせられました。ありがとうございました。

担当者からのコメント:

授業アンケートありがとうございます。

レポートの締め切りを変更したことは相互評価との関係でやむをえなかったのですが、相互評価への理解を得る点でもう少し丁寧な説明が必要であったかと反省しています。相互評価のあり方を含め、次回は、よく考えたいと思います。研究室所属云々は、わかるような気もしますが、受講者一人ひとりの帰属意識の問題としておきます。この講義では、帰属意識というものに対し、いかに自覚的になり、そのことによってどのようにその帰属から自由になれるかということが課題であったわけですが、その点、問題を普遍的に捉えられずにいた人が多かったことは残念です。そのことは、今期のレポートのなかにレポートとして成立し得ないものがあったという意見と関連するでしょう。

いずれにしても、このような意見を皆さんからもらうことで、今回の反省と次回への課題が明確になりました。次回はまた、より刺激的な講義を展開したいと思います。取り急ぎ御礼まで。

科目：日本事情教育実践研究 担当者：細川英雄

登録者：12名 アンケート提出者：12名	5 非常にそうだった	4 そうだ	3 どちらでもない	2 そうではない	1 全然そうではない	0 わからない
1. この科目の内容は、その単位配分に見合ったものだった	7	2	1	2		
3. 授業はシラバス・オリエンテーションに即していた	9	2	1			
3. 講義内容 / 成績評価基準について明確な説明があった	8	3	1			
4. 科目担当者は、十分な準備をした上で講義に臨んでいた	4	5	2	1		
7. 講義中、科目担当者の説明は明確で理解しやすいものだった	2	7	3			
8. 科目担当者は受講者の課題や発表などに対し、有益なフィードバックを行った	5	6	1			
7. 科目担当者は受講者の主体性を引き出す環境を整えていた	8	4				
科目担当者は受講者の意見・質問などに対して、誠実に応じていた	6	6				
9. 科目担当者は、受講者の研究姿勢(分析的・創意的な思考など)に影響を与えるような講義を行っていた	9	2	1			
10. 試験及び課題などには、科目内容が適切に反映されていた	9	3				
11. この科目を履修したことは、受講者自身の研究を深めるきっかけになった	9		1			2
12. 使用された教材・教具(テキスト・レジュメ、視聴覚機器など)は、科目内容に関する研究・考察に役立った	1	4	3			4
13 私はこの講義を他の学生に推薦したいと思う	6	4	2			
14 あなたはこの授業に対して自分から積極的に関わりましたか。	6	5	1			
15 講義時間外で費やした時間の質を自己評価してください。	9	2	1			
16 この科目を履修する際、講義時間外で費やした時間(試験 / 課題準備を含む)は、週平均何時間ぐらいでしたか。(7時間以上 5-7時間 3-5時間 1-3時間 1時間以下 0 不明)	3	2	6	1		
17 あなたの成績は自分で考えて、どのくらいだと思いますか。(5 A 4 A 3 B 2 C 1 D 0 F)	3	8	1			

18 . 担当者に対して要望や改善を望む点がありますか。具体的に書いてください。

- リーダーとサブリーダーと実習生の役割がいまひとつ不明瞭であった。
- 相互評価について、先に評価表を提出したほうがよいと思います。理由は、他の人の意見に影響されて評価が一つの方向にまとまってしまう傾向がみられたからです。
- もう少し実践そのものについて(評価、授業をどう作り上げ維持していくかなど)みんなで考えられる時間と余裕があったらと思いました。
- 一つの授業で二つのこと(実習生として学習者に接すること+自分自身のレポートを書き皆で検討していくこと)が行われたのでつねに時間が足りない感じがした。それによって検討が丁寧なされた人とそうでない人が出てしまい、その点がフェアでないと感じた。

- 望む点はありませんが先生の理論の変化とともにこの授業が変化すること、さらに先生御自身の持っておられる理論を別科生に少し説明されりなどの改善も今後検討されてはいかがでしょうか。
- 担当者だけの問題ではなく、この活動は今後も皆で考えていきたい。
- もう少し実習についての話し合いができればなおよい。
- 体験学習に時間をさきすぎて実践でどう使うかのような議論が少なかった。
- 人数が多いので仕方ないかもしれませんが納得できるようなフィードバックを個人的にもらえるようにしてもらえると助かりましたが・・・。「自分で考える」という主旨の授業だということも原因・・・？
- 学習者をNS3 - 7に分け、リーダー、サブリーダーなどが入り組んでよくわからなくなってしまったところがありました。その点で時間のムダが少し多かったように思います。

19. その他この講義について自由に書いてください。

- この講義は日本語教育で新しく活気ある授業の環境を提供する。学習者が日本語習得を自分の問題として取り扱うことができる。
- 時間をかなりとられるのでハードだがすべての現職教師必修！GBK(担当者注：言語文化研究)も含めてこれを通してない人には教えさせないほうがいい？(過激な意見ですが)
- やりがいはありました。
- じわじわ後からこの価値がわかってくる。たぶん心に残る。
- 自分では納得のいくものでした。
- 留学生と同じようにレポートを書くという課題がとてもきついと思ったが、結果的に多角的な経験を積むことができたと思う。
- 実践に際してどのような点に気を配っているのか、PNJ(担当者注：実践研究のクラス)で話す機会がもっとあったら、ありがたかったです。

担当者からのコメント:

授業アンケートありがとうございます。

この実践研究では、体験学習と授業実践参加を同時に行うため、受講者はかなり大変だったのではないかと思います。担当としては、その二つを同時に行うことにこそ意味があると考えているわけで、その点は理解してほしいところです。ただ、その結果、時間的にかなり切迫してしまい、授業実践についての説明の部分が少なくなりましたことは事実です。しかし、なぜ体験学習部分に時間がかかってしまったのかということもよく考えてほしいと思います。といっても、時間配分は重要ですから、担当者としても、次回に向けて時間の工夫をしたいと考えています。

とくに今回は、初めてのレベルを超えたクラス編成で、いろいろ混乱もありました。しかも全体の人数が多かったにもかかわらず、ほとんどの人が非常に積極的に取り組んでくれたことは担当者としてもうれしかぎりです。いずれにしても、このような意見を皆さんからもらうことで、今回の反省と次回への課題が明確になりました。次回はまた、より刺激的な実践研究を展開したいと思います。取り急ぎ御礼まで。